

はったつしえん し とりく
発達支援のための市の取組み

<p>しょうがっこう 小学校 じゆんかいそくだん 巡回相談</p>	<p>おも しょうがっこう ねんせい たいしよう がっこう ほうちん 主に小学校1・2年生を対象として、学校を訪問し りんしよしん りしなど じゆぎやうちゆう かんさつ ます。臨床心理士等が授業中のお子さんを観察 とくせい おう しえん ほうほう せんもんてき し、特性に応じた支援の方法について、専門的な じよげん おこな 助言を行います。</p>
<p>きょういくそくだん 教育相談 まどぐち 窓口</p>	<p>がっこう じゆぎやう ともだち 「学校の授業についていけない」、「友達とのトラブル おお しゆうがくご がっこうせいかつ そくだん が多い」など、就学後の学校生活についての相談に かよ しょう ちゆうがっこう せんせい つぎ は、通っている小・中学校の先生のほか、次の せんもんいん こた 専門員がお応えします。 きょういくそくだんいん ■教育相談員 ■スクールソーシャルワーカー ■スクールカウンセラー</p>
<p>ほじよきぎょういん 補助教員 はいち の配置</p>	<p>きょういくじよとくべつ しえん ひつやう じどうせいとひとり 教育上特別な支援を必要とする児童生徒一人ひと きょういくてき おう りの教育的ニーズに応じた特別支援教育を行うた はいちきじゆん もと ほじよきぎょういんとう はいち め、配置基準に基づき、補助教員等を配置してい ます。</p>

【一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の場の紹介】

通級指導教室（通級）
 つうじゅう し どうきょうじつ つうきゅう
 通常の学級に在籍したまま、必要な時間だけ「通級指導教室」に
 つうじゅう がっきゆう ざいせき ひつやう じかん つうきゅうしどうきょうじつ
 通って指導を受けます。

特別支援学級（小学校・中学校内に設置）
 とくべつしえん がっきゅう しょうがっこう ちゆうがっこうない せつち
 しょうにんずうがっきゅう ひとり おう がしゅう たいげんてき かつどう こだめ
 少人数学級で、一人ひとりに応じた学習や体験的な活動などきめ細
 しどう おこな ひつやう おう つうじゅうがっきゅう かつどう
 やかな指導を行います。必要に応じて通常学級でも活動します。

特別支援学校（独立した学校）
 とくべつしえん がっこう どりつ がっこう
 しやう おう きょういくが てい がくしゅうじやう せいかつじやう こんなん かいぜん
 障がいに応じた教育課程のもと、学習上や生活上の困難を改善
 こくふく せんもんせい たか きょういく おこな
 または克服するために、専門性の高い教育を行います。

し そうだんまどぐち
市の相談窓口

がっこうせいかつ かん
● 学校生活に関すること

きょういくそくだんまどぐち
【教育相談窓口】
 こそだ しえんか かにてい きょういくそくだんしえんかかり うすいししよ
 子育て支援課 家庭・教育相談支援係（碓井支所）

☎0948-62-5733

てきおうしどうきょうじつ
【適応指導教室（れすとぴあ）】

きょういくいいんかい きょういくけんきゆうしよ うすいししよ
 教育委員会 教育研究所（碓井支所）

☎0948-62-5728

とくべつしえんきょういく かん
● 特別支援教育に関すること

きょういくいいんかい がっこうきょういくか きょうむかかり うすいししよ
 教育委員会 学校教育課 教務係（碓井支所）

☎0948-62-5726

つうしよしえん ほうかごとう
● 通所支援（放課後等デイサービス）など

ふくし りやう そくだん
福祉サービス利用の相談

しゃかいふくしか しょう しゃふくしかかり ほんちやうしゃ
 社会福祉課 障がい者福祉係（本庁舎）

☎0948-42-7458

はったつ おく き そくだん
● 発達の遅れや気になることの相談

【こどもクリニック】 ※不定期での開催となります。
 すいしんか さいていき かいさい とうすいししよ
 スポーツ推進課プロジェクトK・スポーツ推進係（碓井支所）

☎0948-62-5730

きょうじつ しゆうりやう じどう はったつそくだん
【“おひさま教室”を終了した児童の発達相談】

こそだ しえんか はったつそくだんしえんかかり うすいししよ
 子育て支援課 発達相談支援係（碓井支所）

☎0948-62-5716

はったつしよ ぜんばん かん そくだん
発達障がい全般に関する相談

ふくおかけんはったつしよ しゃしえん
 福岡県発達障がい者支援センター ゆう・もあ

☎0947-46-9505（田川市夏吉4205-7）

しゆうがくじどうせいとよう
就学児童生徒用



はったつしよ こ はったつ すず かた
 発達障がいのある子どもたちは、発達の進み方に
 はや おそ しゆうい かか
 早いところと遅いところがあることや、周囲との関わりの
 ずしから しゆうだんせいいかつ なやみ かか
 ズしから、集団生活での悩みを抱えることがあります。
 そのようなときには、かんきやう ちゆうせい、こどもたちのとくせい
 を「強み」として伸ばしていく支援が重要となります。
 こ
 お子さんがどんなことが得意で、何が苦手なのか、
 ひび かんが かつ こうどう しかた みて とくせい りかい
 日々の考え方や行動の仕方をよく見て、特性を理解す
 ることから始めましょう。理解を深め、適切な対応をすれ
 ば、その個性や能力を十分に生かしながら、がっこうせいかつ
 を送ることができます。

か まし はったつしえんれんけいきょうざい
嘉麻市発達支援連携協議会

気になる行動や反応はありませんか？

生活面

- 生活上の決まったパターンを崩すことができない。
- 毎日の準備や片付けが苦手で、忘れ物が多い。
- 興味や関心が特定のものごとに集中している。
- 急な予定の変更や、日頃の習慣の変更に対応することが難しい。



学習・運動面

- 話を聞かなければならない場面で離席が多く、落ち着きがない。
- 運動や手作業への苦手意識が強い。
- 理解力はあるのに、読み書きや計算の学習の一部が極端に苦手である。
- 話すことはできるのに、指示の理解ができない。

以上のような特性があったとしても、必ずしも発達障がいがあるというわけではありません。ただ、そのことで困っていたり、生活に支障が出てしまったりした場合には、学校や専門的機関などに相談し、子どもへの理解を深め、環境を整えていくことが必要です。

人との関わり・コミュニケーション

- 話は上手で難しいことも知っているが、一方的に話すことが多い。
- 相手にとって失礼なことや、傷つくことを言ってしまう。
- 「きちんと」「ちゃんと」など、あいまいな言葉や、例えば話が理解できない。
- ささいなことでも、注意されるとかたまりやすい。
- ひとりであることが好きで、他人との交流や学校行事を苦痛に感じる。

自分らしく伸びていくために・・・



得意と苦手を具体的に知る

発達の特性は、長所や得意なことにもつながります。ストレスを感じずにできる得意なことは上達も早く、苦手なことは努力しても伸びにくいことがあります。得意なこと・苦手なことをどちらも肯定し、その子らしく生活できるような環境を整えることが大切です。

過程を見守り、結果をほめる

落ち着きがなくじっとしていられなかったり、切り替えが苦手であったり、そのたびに注意をされればされるほど、子どもはストレスや緊張を感じます。一生懸命に行っているときは、その過程を細かく注意せず、結果を認めましょう。

落ち着ける場を用意する

慣れない環境でストレスを感じるなどにより、パニックを起こすことがあります。叱ったり、無理に押さえつけたりせず、別室やカーテンで仕切ったリラックススペースを設けるなど、いったん休ませて、落ち着いてから原因を聞いてみましょう。

学校の先生と子どもの様子を共有する

集団での活動が多い学校では、日々の家庭での様子とは違う様子が見られることもあります。家庭と学校が、子どもについての気づきを伝え合い、信頼関係を築いていきましょう。

※学校では「かまこすくすくファイル」や「就学サポートノート」などを活用し、継続した支援を行っています。

困っていることに気づき、理解し、特性に合わせて対応を工夫していくことで、「安心」「自信」「意欲」「自己肯定感」「家族や他人への信頼感」などが生まれます。